



出張授業



林 明夫
開倫塾
取締役社長

この写真は、公益社団法人経済同友会の「学校と経営者の交流活動」として、会員の皆さまと共に2008年10月20日に、東京都墨田区立文花中学校に出張授業に行った時の写真です。

この日はあらかじめ学校から「中学生に望むこと」をできるだけ分かりやすく、また、具体的に自身の中学生時代から現在までを振り返り、経営者としての見識に基づいて、「中学生時代に身に付けるべきこと」を、中学3年生に50分間お話しするようにと依頼があり、数名の会員の皆さまと共に出張授業を行いました。

経営者が出張授業で、どのように授業をするのか。授業の仕方は自由なので、登録なさっている会員の皆さまは、自分なりのやり方を工夫しているようです。

私は、学校から与えられたテーマに沿って、簡単なレジュメを作り、できるだけ分かりやすく、かつ、具体的にお話するようにしています。

この出張授業は実にやりがいがあります。私は、北関東の栃木・群馬・茨城で60余りの学習塾を経営し、手術用縫合針製造のマニー株式会社で昨年まで6年間社外取締役を務めさせていただきました。栃木県の社会教育委員や福島市



出張授業中の筆者

の学校法人有朋学園有朋高等学院の理事長もしていますので、学校教育の不足するところをいくらか知っています。経営者が出張授業を行うことは、学校で不足するところを補うという意味で極めて意義深いことと考えています。

また、生徒や先生方から数多くの質問や意見・感想などをいただくことも多く、一緒に出張授業を手掛けた会員や事務局の皆さまとも親しくなれ、とても素晴らしい活動だと思います。

北城恪太郎元代表幹事が始められたこの事業は、会員をはじめ事務局や各地の学校や教育委員会の協力ですいぶん軌道に乗ってきました。学校や教育委員会からの派遣要請も増えてきましたので、より多くの経済同友会の会員の皆さまが参加なさってくださればもっと活発になると思います。

栃木県経済同友会では大学や短大、大学院に、また、群馬県経済同友会では中学校や高校に、会員を講師として派遣しています。全国の経済同友会でも同じような活動をしているところが多いと思いますので、年に一回は、全国規模での情報交換会などができれば素晴らしいなと夢見ております。